



【目指す児童像】  
考える子 健康な子  
親切な子 がんばる子

# いずみ

2026.1.27  
ひたちなか市立  
中根小学校  
学校だより No.10



児童数（1年生:53名 2年生:50名 3年生:55名 4年生:46名 5年生:52名 6年生:62名）計318名

新しい年、令和8年が始まりました。社会の変化が激しく、先行きの見えにくい時代だからこそ、学校には児童が安心して自分らしさを発揮できる場であることが求められています。中根小学校では、児童ひとりひとりの「こうしたい」「やってみよう」の「たい・よう」を大切にしています。自分で考え友達と関わりながら一歩を踏み出す経験の積み重ねが、これからの社会を生きる力につながると考えています。本校児童の「たい・よう」が、日々の学校生活の中で大切にされていると、保護者の皆様により一層感じていただけるよう頑張ります。本年もよろしくお願いいたします。

## 校内書き初め会

8日（木）、9日（金）に書き初め会を実施しました。書き初め会は、「新年を迎え、新たな決意をもち、それを毛筆で表現することを通して、日本の文化・伝統に触れる。」「正しい筆づかいを習得するとともに、筆を用いて表現する喜びを味わうことができる。」ことをねらいとしています。低学年は各クラスで、中・高学年は体育館で実施しました。高学年の児童が、寒さの感じられる体育館でひとりひとり半紙と向き合い、集中して一文字一文字書いている姿が大変印象的でした。



## 子ども伝統文化フェスティバル



18日（日）に、市文化会館で開催された「ひたちなか市子ども伝統文化フェスティバル」に5年生が参加しました。6月の「いずみ」にも掲載しましたが、5年生は、総合的な学習の時間で、我が国の伝統文化について学習しています。その一環として我が国の伝統的な楽器である和太鼓の学習に取り組んできました。その学習成果の発表としてステージ演奏を披露してきました。子ども伝統文化フェスティバルは、平成22年に始まり、新型コロナウイルス感染症の流行によって中止となった2回を除き、今年で14回目を数えます。子どもたちに伝統文化を伝えようとしている団体の成果発表の場、各団体間の交流の場、これらを通して、未来へ伝統芸能、伝統文化を継承していくことを目的としています。年度当初は、バチを持つ姿がおぼつかなかった5年生ですが、当日のステージでは、しっかりとした姿勢で、太鼓を打つ姿を見ることができました。緊張した面もちで演奏が始まりましたが、お互いに音やリズムを重ねる楽しさや、会場の聴衆と一つの音楽を共有できるうれしさからか、どんどん演奏の熱量が増して

いき、力強いフィナーレを迎えることができました。演奏後の割れんばかりの拍手もとても印象的でした。

## 学力診断のためのテスト

15日（木）と16日（金）に「学力診断のためのテスト」が4年生以上を対象に国語、算数、理科、社会の4教科で実施されました。このテストは、「基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する学習活動を充実させ、学習意欲や思考力・判断力・表現力等を育成し、確かな学力の向上を図る。」「児童の学力の実態を指導年度内に把握し、補充指導等を通して、学力の定着を図るとともに、指導方法の改善に役立てる。」ことを趣旨として実施されます。テストの結果に一喜一憂することなく、自分の得意なところ、苦手なところを把握し、今後どのように学習に取り組んでいけばよいか、見通しを立てることがとても大切なことです。また、私たち教職員も児童の実態を把握するとともに、今後の指導方法を改善していくことに努めます。